

令和6年度 地域包括支援センターの認知症施策に関する取り組み

資料2

包括	目 標	具体的な取り組み	
第一	認知症にやさしい地域づくりを目指します。	様々な世代の認知症サポーターを養成する。	認知症サポーター養成講座の開催：年5回
		認知症について学んだり、認知症の人やその家族が参加できる場所づくりについて検討していく。	チームオレンジしまいち連絡会：年4回 多機関と協働したオレンジカフェ開催：随時
第二	認知症の理解を促進し、誰もが安心して暮らすことのできる町づくりを整備していきます。	チームオレンジ「きずな」と共同で認知症カフェの実施について検討をする。	キャラバンメイト連絡会を年2回開催予定。 ①顔合わせ及び現状報告(キャラバンメイト及びチームオレンジ「きずな」) ②チームオレンジ「きずな」と包括協働で、認知症カフェの実施について検討する。
		認知症を正しく理解してもらうために、教育機関や企業、福祉事業所などに働きかけ、認知症サポーター養成講座の案内を配布するとともに年4回実施する。	第二中学校区の教育機関や企業、福祉事業所などに講座案内を配布するとともに、認知症サポーター養成講座を年4回実施する。
六合	地域で認知症の方を支えられるような体制を構築する。	多世代に認知症を正しく理解してもらい、支援者を増やしていく。	①認知症サポーター養成講座の開催(六合小、六合東小、六合中、企業、金融機関) ②チームオレンジ連絡会(2回) ③認知症カフェ開催(年12回)

包括	目 標	具体的な取り組み	
初倉	多世代に認知症の理解と対応を周知します。	チームオレンジの活動を支援し、様々な世代の認知症サポーターを養成します。	①チームオレンジ連絡会(年6回) ②認知症サポーター養成講座(初倉小・初倉南小・初倉中学・南原地域住民・企業)
		認知症の相談や学習が気軽にできる場所を作ります。	①つながる広場くらら(こども食堂)開催時に相談ブースを設ける(月1回) ②はつくらカフェ(年4回)
金谷	認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活ができるようにサポート体制を整えていきます	若い世代をはじめ様々な世代に認知症の基礎知識と理解を深め地域で見守る体制をつくる	認知症サポーター養成講座【年5回】企業、金谷中学校、金谷・五和小学校など
		ひなたぼっこカフェの周知を図りチーム茶つきり、認知症サポーターが活動できる場を広めていきひなたぼっこカフェの定着を目指す	①チーム茶つきり連絡会【年2回】 ②ひなたぼっこカフェの定期開催
		認知症予防として認知症の方も含め自分の役割をみつけ社会参加できる場をつくる	かなうえるで季節に応じた花壇づくりや野菜作りの実施
川根	認知症の理解と予防を深めるための周知・啓発活動を行い、多世代で支え合う地域づくりを推進します。	様々な世代に認知症に対する正しい知識と理解を広げ、地域の担い手づくりに取り組む。	①川根小学校・中学校、企業にて共に行う認知症予防活動の啓発を行う。 ②認知症予防講座:年3回
		MCI(初期認知症状)の方に対し、しまトレや機能訓練を通じた認知症予防の習慣を定着させる。	①川根地区医療・介護多職種連携連絡会:年1回(1/全3回)医療職から啓発できるように情報共有。 ②しまトレや短期集中運動機能教室への参加呼びかけ。
		認知症カフェや運営推進会議にて、認知症に関する相談支援や課題把握を行う。	①認知症カフェ:開催時 ②運営推進会議:年12回 ③認知症キャラバンメイト連絡会:年1回